

①宗関寺



平安時代に華嚴菩薩が開いた寺を氏照が永禄7年(1564)に再興したといわれています。北条氏照百回忌法要のときに中山信治が寄進した宗関寺銅造梵鐘(市指定文化財)があります。

②北条氏照及び家臣墓



北条氏照の百回忌を機に中山信治によって建てられたものです。氏照は天正18年(1590)に小田原城下で切腹し、現在は墓だけが小田原駅近くに残っています。

③八王子城跡管理棟



平成4年(1992)に完了した整備事業の一環で、見学者のトイレなどと同時に、復元部分の管理のために建てられました。
 ・説明板あり
 ・パンフレット配布
 ・ガイドボランティア

④大手の門跡



昭和63年(1988)に確認調査をし、門の礎石や敷石が見つかりました。この門は、玄関口にあたり、当時はこの先に道が続いていたと考えられます。現在は埋め戻されています。(写真は確認調査時のものです)

⑤古道



戦国時代に御主殿へ入る道として使われていました。当時は城山川の右岸を、さらに下流へ続いていたと考えられます。対岸の道は、江戸時代に作られた林道です。

⑥曳橋



古道から御主殿へ渡るために城山川に架けられた橋です。現在の橋は、御主殿跡への導入路として、現在の技術で戦国時代当時の雰囲気を考えて架けられました。

⑦虎口



城の入口のことをいいます。石垣や石畳はなるべく当時のものをそのまま利用し、できるだけ忠実な方法で復元しました。御主殿入口の門は冠木門(かぶきもん)といい、当時の門をイメージして建てられました。



⑧御主殿跡



落城後は徳川氏の直轄領、明治時代以降は国有林であったため、落城当時のままの状態が保存されていました。発掘調査の結果、礎石をたくさん使った建物の跡や水路の跡、多数の遺物が出土しました。

⑨御主殿の滝



落城時に、御主殿にいた北条方の婦女子や武将らが滝の上流で自刃し、次々と身を投じたといわれています。その血で城山川の水は三日三晩赤く染まったと伝えられています。

⑩金子曲輪



金子三郎右衛門家重が守備していたといわれています。尾根をひな壇状に造成し、敵の侵入を防ぐ工夫がされています。この曲輪の南斜面には梅・椿・紅葉が植えられています。

⑪小宮曲輪



狩野一庵が守備していたといわれるため、一庵曲輪とも呼ばれていたといわれています。豊臣秀吉による関東制圧の際に前田・上杉軍に攻められ、わずか1日で落城しました。

⑫八王子神社



延喜13年(913)に華嚴菩薩妙行が山頂で修行中に牛頭天王と八人の王子が現れました。その因縁で延喜16年(916)に八王子権現を祀ったといわれています。この伝説が、「八王子」の名称の起源とされています。

⑬松木曲輪



中山勘解由家範が守備していたといわれています。天正18年(1590)6月23日の秀吉による八王子城攻めの際に、前田・上杉軍と奮戦しましたが、多勢に無勢で防ぎきれませんでした。

⑭本丸跡



城の中心で、最も重要な曲輪です。平地があまり広がらないので、大きな建物はなかったと考えられています。横地監物吉信が守備していました。